

音楽科学習指導案

令和4年11月24日(木)第6校時

1年A組 39名

指導者 田村 有実子

1 題材名 「マイソングをつくろう」

2 題材設定の理由

(1) 教材について

- ・本題材は、自分の性格を表現した曲をつくるという「作曲」だけでなく「自分自身にも関心を持つ」ということも考えて選んだ。初めての創作活動でもあるので、身近な題材の方が興味を持つのではないかと考えて設定した。
- ・8小節という短い曲ではあるが、自分の性格を表現するために必要な要素を考え、工夫を重ねることができるものである。表現したい性格によって音の長さや音色の違いなどがあることに気づかせ、自分の性格を旋律で表現するための方法を考えさせる。そして完成した時には、自分のものとしての満足感や達成感を味わえる題材である。

(2) 学習者について

- ・7月に実施した教科アンケートで音楽の授業が好きだと答えた生徒は46.6%であり、歌唱、器楽、鑑賞、創作の4分野の中で創作が一番好きだと答えた生徒は2.5%だった。この時点で創作の授業はしておらず、小学校でも経験がほとんどなかったのではないかと考える。
10月の作曲に関するアンケートでは、作曲に興味がある生徒は53.8%、作曲したことがある生徒は15.3%という結果だった。作曲したことがある生徒の手段としては、5線紙に記譜が多く、他にはアプリやソフトを使用していた。
- ・前期の授業で、音符の名称や長さの復習とリズムについての学習をしている。また、リズム聴音を行い、記譜法だけでなくリズムを聴きとる力をつけた。
- ・本学級は、音楽の基礎知識が定着している生徒が多く、現在までに行った歌唱や鑑賞の学習においても、積極的に参加し、感受性が豊かである。

(3) 指導について

- ・初めての創作活動であり、また初めて ICT を使った創作である。今回は「ソングメーカー」を使用するが、それを操作することが目的ではなく、イメージしたものを表現するツールの一つとして捉えさせたい。5線紙を使った記譜法も大切なので、両方の特徴を学ぶ機会にしたい。
- ・本題材を通して、音のつながり方の特徴と自分の表したいイメージとの関わりについて理解させるとともに課題や条件に合った音の選択や組み合わせ方などの技能を身に付けさせながら旋律をつくらせ、創作表現を創意工夫できる力を身に付けさせたい。

3 学習指導要領の指導事項

A 表現(3) 創作

- ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。
- イ(ア) 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。
- ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。

思考・判断のよりどころとなる要素 … リズム・旋律

4 題材の目標および題材の評価規準

ア、音のつながり方の特徴と表したいイメージとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。

イ、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚・感受したことに関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつとともに、創作表現を創意工夫する。

ウ、イメージを基に短い音楽をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に創作の学習活動に取り組む。

| ア知識・技能 | イ思考・判断・表現 | ウ主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ① 音のつながり方の特徴と表したいイメージとの関わりについて理解している。 ② 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。 | ① リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 | ① イメージを基に短い音楽をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 |

4 指導と評価の計画

| 時 | 主な学習活動・ねらい | 指導上の留意点【問いの工夫】 | 評価規準 | | | 評価方法 |
|---------|---------------------------|---|------|------|----|----------------------|
| | | | ア知・技 | イ判断表 | ウ態 | |
| 1 | 打楽器を使い、性格を表現したリズム創作をする | ・性格を表現するのに必要な要素(知識や工夫)を考え、リズム創作に活かす (テンポ、音色、音の長さ、音域、調、拍子) ・表現したい性格によって音の長さや音色の違いなどがあることに気づかせる ・ソングメーカーに慣れさせる | ① | | ① | ワークシート 観察 |
| 2 本時 | 自分の性格を表現した「マイソング」を旋律で創作する | ・自分の性格を旋律で表現するための方法を考えさせる (前時の内容に加え、音の高さにおいて、跳躍進行、順次進行などに気づかせる) ・班員に聴いてもらい、アドバイスをもらう(中間発表) | ② | ① | | ワークシート 曲の提出 観察 |
| 3 | 曲を完成させ、班で聴き合い、曲の工夫を見つける | ・工夫を明確にし、曲を仕上げる ・表現方法を再確認し、班で聴き合う際に曲の工夫に気づかせる | | ① | ① | ワークシート 曲の提出 観察 |

【努力を要する状況(C)に対する手立て】

- ・イメージと音素材、旋律の特徴を視点に、教師の例を示したり、近くの席の生徒の様子を観察させたりする。
- ・創作活動のどの部分で生徒が滞っているのかを観察したり尋ねたりするなどして把握し、解決の手がかりがつかめるように具体例を示す。

5 本時の指導

- (1) 本時の位置づけ(2 / 3)
- (2) 題材名 自分の性格を表現したマイソングをつくろう
- (3) 本時のねらい

自分の性格を旋律で表現する活動を通して、音のつながり方を工夫しながら思いや意図をもって創作することができる。

本時における「問い」の工夫(音楽科)

- ・自分の性格を表現するために、必要な要素をもとに設定を考えさせ、ソングメーカーを使うことで自分のつくった曲を随時確認できる。
- ・班で曲を聴き合い、その性格を表現できているかを聴き取り、アドバイスする。

(4) 展開

| 時間 | 学習活動 | 学習内容及び指導上の留意点 | 評価 |
|----------------------|--------------------------|--|--------------------------|
| 5 | 1 前時の復習をし、本時の学習内容を 確認する。 | ○前時に学んだ「創作に必要な要素」についてふりかえらせる。 (テンポ, 調, 音色, 音域, 音の長さ, リズム) | |
| 自分の性格を表現したマイソングをつくろう | | | |
| 15 | 2 創作の条件を知り、表現の工夫について考える。 | ○今回の創作の条件を知る ・単旋律, 8 小節, 4 分の 4 拍子, 自分の性格を表現する。 ・以前アンケートで書いた, 自分の性格とイメージカラーを記入させる。 ○表現するために必要な要素を復習し, 旋律を加えることでさらに必要なことを考えさせる。 テンポ, 調, 音色, 音域, 音の長さ, リズム + 音の高さ…跳躍進行, 順次進行, 上行, 下行 | |
| 20 | 3 マイソングをつくる。 | ○各自ワークシートとイメージメモに記入し, 創作させる。 (イメージは 8 小節分, 曲は最低限 4 小節分) <例:元気> ♩=120, ハ長調, ピアノ, 高め, 短い・付点, 跳躍進行・上行多め | ア②[観察] イ① [ワークシート] |
| 5 | 4 班で聴き合い, アドバイスする。 | ○班ごとに作品を発表し, 意見交流をさせる。 ・各項目の設定はその性格を表現するのに適しているか考えさせる。 | イ①[観察] |
| 5 | 5 ふりかえりを行う。 | ○ワークシート記入 曲の提出 | イ① [ワークシート・曲の提出] |

協議の柱: 性格を表現するための設定を考え, ICT を使って表現することは創作意欲につながったか。